

熊本信愛女学院高等学校俳句手一△

年間文化活動部門



概要

設立年月日 平成13年5月1日
学 校 長 問 数 二平京子 (にへい きょうこ)
学 顧 人 西口裕美子 (にしぐち ゆみこ)
住 所 5名
主な活動地 熊本市上林町3-18
熊本市・吟行地

熊本信愛女学院高等学校俳句チームは平成十八年度
 の「第九回俳句甲子園 全国高等学校俳句選手権大会」
 において六回目の出場で見事初優勝の栄冠を勝ち取り
 ました。
 この大会は、正岡子規のふるさと愛媛県松山市で毎
 年開催される全国の高校生による俳句の競技会で、五
 人一チームで俳句を作り、聴衆の前でその俳句を互い
 に鑑賞・議論しあい、プロの俳人などの審査員がそれ
 らを総合して勝敗を決めていく、オーブン形式の俳句
 競技大会です。
 信愛女学院俳句チームは、準々決勝で一度は敗れま
 したが、敗者復活戦で勝ち上り、準決勝で昨年度優勝
 校を破って勢いに乗り、見事頂点に立ちました。
 高校生らしい伸びやかな表現と、豊かな感性で作句
 しており、全国の高校生と交流するなかで切磋琢磨し、
 同じ年頃の若者に日本の伝統文化のすばらしさを発信
 するなど、俳句を通じての地域間・世代間の交流と若
 者の文化活動の活性化に大いに寄与しました。

これまでの活動歴

平成十三年	第四回俳句甲子園出場
平成十四年	第五回俳句甲子園出場
平成十五年	第六回俳句甲子園出場 (三位入賞)
平成十六年	第七回俳句甲子園出場
平成十七年	第八回俳句甲子園出場
平成十八年	第九回俳句甲子園出場初優勝
	特別賞 藤原志乃
	個人賞 西口希
	俳句甲子園決勝の句 【兼題】生

「草の絮(わた)もあるく生きていたりする」
 藤原千春
 「生まれつき人見知りです姫胡桃(ひめくるみ)」
 西口希
 「生卵呑(の)んで深まる祖父の秋」
 村上華子
 「不器用な生き方ですが鱗雲」
 杉田小百合
 「白地図を展(ひろ)げて生(あ)るる新樹光」
 藤原志乃